外堀川クリーン作戦　～まちづくりコミュニティ清掃～　第35章

実施月日　30年 2月 4日 （日曜）　10:00～12:00
施工場所　姫路市外堀川(　　橋付近～　橋付近)
参加人数　合計　人（会員 名　大人 人　学生 0人　12歳未満 0人）
ゴミの量　約 袋（大袋）

感想・意見・特記事項等

今回の活動は中止することとし、会議を行いました。
中止となった経緯は、県と市、自治会と学識者による、仮称「外堀川三左衛門堀を美しくする会」の設立に伴い、その設立団体が今後、地域課題解決に取り組む為、当法人の担ってきた役割が果たせたとの 結論に至り中止とした。
建前は前文にある通りですが、実際は根深い理由があるもので事実を述べてみたいと思います。
これは、連合自治会長個人と一名の市議による、当法人に強い懸念を示し排除する意向が存在しています。
年々活動が活発化するに伴い、地域や行政からの賛同や応援が高まり、課題解決に向けた傾向が強まる中、これに対して、嫉妬や妬みが生まれると共に、権限や主導権を得る為だけの行動と仕掛けが存在しています。
当法人の活動を無力化したいがために、仮称「外堀川三左衛門堀を美しくする会」の設立を行政に提案した意向が強く、地域や市民の意向は含まれる様子もないことや、課題解決に取り組む志は低いことなどがあり、本来あるべき姿ではなく、建前で執り行われるものとなっている。設立に伴う際に、行政の各部署からは、当然のように当法人が参加すべきとの意向を示しましたが、自治会長と市議の両名はこれを強く反対し、強引に参加させなかったことからも個人的な立場を確保したいことが伺えます。行政もこれを諭し、努力を行わなかったことに対して、批判すべき点はありますが、やむ得ないことかと思います。
両名は、当法人に対して、勝手にやってる団体だ。助成金目当てだ。外堀川を独占したいだけだ。等々の声を発信しているようだが、とても浅くつまらない事で、地域に大きな損失をもたらす私利私欲な思考であると考えます。
当法人は、自治会をないがしろにする気もなくそのような行動も行なっていません。また行政に対しても同じく、報告や協力は行なってきましたが、権限や助成を促がしたこともありません。それぞれの立場や意向を考え、地域の利益になるようにNPO法人の役割を努めています。それにより行政を含め、多くの市民からの賛同や協力により育てられ、現在に至ってきたのだと確信しています。それだけに活動の中止表明は、残念なこととなりました。
今現在も多くの方々や行政から、中止せず活動を行うようにとの叱責の声を頂きます。その中で当法人のやるべきことを、今一度検討していきたいと思います。
またこのような事態が起こったことに関しては、ある意味地道な活動が徐々に広がりを見せ、地域課題の認識から、解決に向かうべきとの必要性が高まったことによるものだと思います。方向性は別として、様々な動きがあることを良しとし、携わる人が多くなっていることや、関心が増えていることに関しては、当法人が課題に切り込み、継続してきた成果かと捉え、長年協力頂いた皆様のおかげによるものだと思います。